

学習内容報告書 フォーマット

学校名	高岡市立太田小学校
授業者	教諭 養藤 了佑 講師 姫野 夕貴

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

守ろう！地域の環境と安全 ～環境編 「守ろう、ふるさとの海・山・まち」～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、理科、社会、特別な教科 道徳、

1-4. 単元の概要

本学年は、知識が豊富で、新たなことを知りたいという意欲が高い児童が多い。生活全般の様々なことに興味をもち、調べ学習等には特に意欲的である。一方、書籍等で得た知識が行動・実践につながらない、やる気はあってもつい周囲の雰囲気流され行動に移せない、ということもある。環境学習に関しては、給食を残すことがあったり、節水や節電ができなかったりと、エコ活動には意識が向いていないように見受けられた。

そこで本単元では、身近なところから環境問題を調べ、対策となる活動を自分で考え実践していくことで、持続可能な社会を担う者の一人であるという意識をもつことができるようにする。さらに、その活動を地域に広めることで、自分一人だけではなく、家庭や地域も巻き込んでSDGsを進めていこうという意識をもつようにする。社会科でのごみに関するエコ活動や節水・節電運動、総合的な学習の時間の漂着物調査を関連付け、ふるさとの海を守ろうという意欲を高める教科等横断的な学習を進めていく。

そうすることで、より多面的・多角的に環境問題を見つめ、「ふるさとの海を守る」ことを自分ごととして捉え、自分の実践につなげていく姿を期待する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

SDGsが叫ばれる現代では、一人一人が持続可能な社会の実現を目指し、意識しながら生活していくことが必要である。太田小学校区は、豊かな山と海の恵みがあふれた地域であり、児童もその自然に愛着をもちながら育っている。そんな児童だからこそ、環境を守り、この美しい地域、ふるさとの海を守ってほしいと願った。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・身近な地域の環境問題について関心をもち、自分なりの課題を見付けることができる。
- ・漂着物調査等の結果を生かし、ふるさとの自然を守るために何ができるのか考え、実践することができる。
- ・調べたり実践したりしたことを、学校の友達や地域に分かりやすく発信することができる。
- ・地域に暮らす一員として、ふるさとの自然に愛着をもち、その保護活動に進んで参画しようとする。

1-7. 単元の展開（全44時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / ○主な評価 外部連携 / 使用教材等
4	<p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化による影響を調べる。地球温暖化が自然災害、病気、食糧問題につながることを捉える。海水面の上昇により、太田地区の海にも影響が及ぶことを予想する。 【社会科】浄水場と下水処理場のそれぞれの役割を学び、自分たちの安心・安全な生活のための苦労や工夫を知ると同時に、水を大切に使うという意欲を高める。 【社会科】燃やせるごみの処理で排出ガスが出ること、ごみを減らすために3Rの取組があることを知り、実践していこうという意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の地域探検の想起（海の生き物、伝説等を調べた学習内容） 他教科との関連 社会化を中心にRについての学びの場の設定 学校図書館司書との連携 「ふるさとの海」という意識の醸成 <p>○今日的課題である「地球温暖化」を自分ごととして捉え、それがふるさとの海の問題にもつながることを意識し、その解決のために自分で考え、行動しようとしている。</p>
10	<p>7・8月(夏季休業を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化による影響、その原因、くい止めるための取組等、自分の興味・関心に合わせて、書籍・インターネット等で調べ学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 海のゴミ問題についての動画等視聴 ICT機器の活用方法の指導 ネットモラルの指導
10	<p>9・10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の海(松太枝浜)へ漂着物調査に行く。マイクロプラスチックの存在を知る。 調べた内容をクラス全員で共有するため、話し合う。 共有した内容を掲示物にまとめ、掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 環日本海環境協力センター 高岡市環境サービスセンター ワークシートの工夫 <p>○校区の海(松太枝浜)の漂着物の内容や量について把握し、その解決には地域住民の協力が必要なが分かる。</p>
10	<p>11・12月</p> <ul style="list-style-type: none"> いま分かっていることを整理する。自分たちだけでは解決できない問題であることに気づき、多くの人に伝えようという意欲をもつ。 伝える相手と手段を話し合う。 全校の友達に伝える内容を話し合う。 コロナ禍でも可能なように、ビデオを作る班、ポスターを作る班に分かれて活動する。 自分たちの取組がSDGsの一部につながることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「海がどうして汚れてしまったのか」、話し合う場の設定 自分の調べ学習や漂着物調査の際に聞いた専門家の話を基に、海の汚れの原因について学級全体で共通理解する場の設定 今、自分たちにできていることを考え話し合う場の設定 <p>○自分にできることは何か、解決方法を考えて活動を継続しようとしている。</p>
6	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬休み中に行ったSDGsの取組を基に、全校や地域に呼びかける内容を精査する。 発表用のビデオ、ポスターを完成させる。 漂着物調査の結果を出前授業で聞く。 地球温暖化とSDGsとの関連を理解し、環境問題を幅広く捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsと関連したワークシートの工夫 家族とともにSDGsに取り組む場の設定 児童の意見、家族の意見の集約 <p>○家族や地域住民の協力を得てふるさとの海の問題を解決するため、積極的に行動しようとしている。</p>
4	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオを校内で放送する。ポスターを配付する。 学習参観で保護者や地域協力者へ協力を呼びかける。 地域へポスターの配布を依頼する。 自分たちにできることを、これからも続けていこうという意欲をもつ。 これまでの取組を振り返り、キャリアパスポートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域協力者への授業公開の場の設定（学習参観） <p>○自分たちの取組についてSDGsの視点から振り返るとともに、異なる状況や立場、考え方もつ相手のことを理解しようとしている。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・ふるさとの自然（海、山、まち）の環境問題の解決に向けて、自分のできることを考え実践したり、保護者や地域住民に働きかけたりしようとする。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時の課題を確かめる。（5）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ふるさとの自然（海、山、まち）を守るため、自分たちにできること、家族や地域の皆さんにお願いしたいことを発表しよう。</p> </div> <p>2 学級全員で作成した動画を上映したり、ポスターを紹介したりする。（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松太枝浜にも海洋ゴミがたくさん打ち上げられていた。 ・マイクロプラスチック問題が深刻化している。 ・自分たちの生活から出るゴミや排水が影響を及ぼしている。 <p>3 自分、家族、地域全体で進めていきたいことを発表する。（15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコバッグの携行を習慣にしよう。 ・食品ロスを減らすよう、計画して買い物しよう。 ・こまめに節電・節水しよう。 ・近い所には車を使わず歩いて行こう。 ・ゴミの分別を徹底しよう。 <p>4 家族や地域協力者の意見を聞く。（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族でSDGsの取組を続けたい。 ・公民館に環境に関するパンフレット、エコシールを置いてもらおう。 <p>5 まとめ（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、学習感想を書いたり、発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高めるため、校区の美しい自然風景の写真と世界各地の汚れた海の写真を並べて提示する。 ・学級全体で取り組んできたことが短時間で伝わるよう、動画の編集を工夫する。 ・授業会場にポスターを展示し、各グループの取組を紹介するとともに、必要に応じて児童自身に説明の場をもたせる。 ・ワークシートに自分の考えを書く活動を取り入れ、机間指導をして一人一人が自信をもって発表できるように声かけをする。 ・児童全員に自分の意見を述べる場を保障し、全員の意見を全体に位置付ける。 ・冬休みの各家庭のSDGsの取組が分かるワークシートをあらかじめ保護者に渡しておく。 ・PTA役員に講評を依頼しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分の住む地域の自然環境を守るため、家族や地域住民に積極的に働きかけている。（発言、発表、ワークシート）</p> </div>

3. 今回の活動の自己評価

- ・総合的な学習の時間のテーマに今日的課題である「環境問題」を取り上げ、長期にわたって学習に取り組んだが、実際に漂着物調査、家族全員でSDGsの取組等を行うことで、児童は自分ごととして受け止め、学習意欲を持続することができた。
- ・全校の友達に発信する場や学習参観で保護者に授業を公開する場を設定することで、児童は自分の取組に自信をもったり、次の活動への意欲を高めたりすることができた。
- ・児童は、「環境問題」をSDGsの視点で見直すことで、身近な地域で活動しながら地球規模で考える目をもつことができた。
- ・地球全体の大きな問題を身近な問題として捉えさせるには、ICTを活用し、情報収集に当たることが有効である。その際、教師が児童の思考の流れに沿った動画や資料を活用することで、児童の学習意欲を継続できる。

4. 今後の課題

- ・コロナ禍で、専門家による出前講座等を延期または中止することが多かった。次年度は、オンラインによる出前講座を前もって計画しておきたい。そのため、教師自身がオンライン講座等に積極的に参加し、海洋教育に参画していきたい。
- ・教師のカリキュラムマネジメント力を高め、子供の発言の背景には、どの教科でどのように学んだことがあるのかをしっかりと見取ることができるようにしていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

写真の使用に当たっては、どの写真を使用するのか、事前に知らせてほしい。本校ホームページ等での使用については保護者から承諾をいただいているが、外部に出る場合は学校の方で保護者に再確認を行っている。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

【活動の様子（写真）】

○9月 漂着物調査



○2月 学習参観での環境に関する発表

